



明石巡り

明石観光ガイド



食、海峡、歴史、時など明石の魅力がぎゅっと満載。



歩いて巡る時を刻むまち、明石

明石は徒歩で行ける観光スポットが目白押し。
食・海峡・歴史・時をテーマに明石のまちを満喫しよう!!

明石市MAP
&
アクセス
p10



傾斜のついた木製のあけ板に盛られる明石焼（玉子焼）。原材料には小麦でんぷんの粉である「じん粉」が使われている。

明石焼（玉子焼）

たこ焼きのルーツともいわれている明石を代表する名物。ふわふわの生地の中に歯ごたえのあるタコが入った明石焼（玉子焼）は、お出汁が基本。市内には約70店舗の専門店があり、地元では玉子焼の名で親しまれている。

【問】(一社)明石観光協会
Tel 078-918-5080
✉ info@yokoso-akashi.jp



明石焼トリビア ①

明石焼（玉子焼）はたこ焼きなどに使われる鉄鍋ではなく、柔らかくふんわりと仕上げるため熱伝導の良い銅鍋で焼く。



明石焼トリビア ②

江戸時代末期、明石の地場産業だった「明石玉」とは、玉子の白身を接着剤として使用し、硝石などを混ぜて固めた人工サンゴである。大正時代中頃までかんざしなどに用いられ、大変人気を得ていた「明石玉」。一方で余った黄身と小麦粉、さらに当時からたくさん捕れたタコを活用して出来たものが明石焼（玉子焼）といわれている。



食のまち



明石海峡で育つ おいしい鮮魚の秘密

瀬戸内海に面し、自然豊かな明石市。中でも明石海峡は魚たちにとって栄養が豊富なうえ、速い潮流で身の引き締まった魚が育つ豊かな漁場だ。また、午前11時頃に行われるセリ市により、朝に水揚げされた魚（昼網）が昼ごろには鮮魚店や料理屋に届けられ、鮮度の高い魚介類が味わえる。自然と人が支える明石の食文化を堪能しよう。



魚の棚商店街

明石の台所として、約400年の歴史を持つ商店街。屋網と呼ばれる明石鯛や明石だこをはじめとする活きのいい魚介類はもちろん、練り製品やお土産など、約100店舗が軒を連ねている。地元では「うおんたな」の愛称で親しまれている。



【問】魚の棚商店街事務所(魚の駅)
Tel 080-4647-9666



雨の日も大丈夫!

JR・山陽明石駅から「あかし市民広場(ハビオスあかし2階)」を通り、歩道橋を渡ると魚の棚商店街が目の前に!!アーケードがあるので、傘を差さずに魚の棚商店街へ行くことができる。



※2024年4月現在の(一社)明石観光協会会員店舗掲載

明石鯛

明石海峡の速い潮流と豊富なエサで生まれ、身の引き締まった明石鯛は国内でも一級品。その鯛を丸ごと炭火で焼き、将軍に献上したのが姿焼きのはじまりと伝えられている。現在でもお祝い事や贈答品として喜ばれている明石の特産品。

【問】(一社)明石観光協会 Tel 078-918-5080
✉ info@yokoso-akashi.jp



焼きあなご

肉厚で脂の乗ったアナゴは、鯛・タコと並ぶ明石の三大名産品の一つ。特に甘辛いタレをつけ、香ばしく焼き上げた焼きあなごが有名だ。各店によってタレや焼き具合などに特徴があり、違いを楽しむのも味わい深い。お土産としても人気が高い。

【問】(一社)明石観光協会
Tel 078-918-5080
✉ info@yokoso-akashi.jp



明石だこ

全国的にも名高い明石だこ。流れの速い潮流に鍛えられた太くて短い足が特徴で、歯ごたえのある触感を持ち合わせている。干しダコやタコ飯、せんべいなどの名産品をはじめ、刺身や天ぷらなどさまざまな料理で楽しめる。

【問】(一社)明石観光協会
Tel 078-918-5080
✉ info@yokoso-akashi.jp



明石だこ応援コメント

明石たこ大使さかなクン

「明石のタコは立って歩く」といわれるほど筋肉がムキムキ!これは明石海峡の潮の流れに負けないように暮らしているからです。タコちゃんには元気の源タウリンがいっぱい!!超!おススメでギョざいます!!



©2024 ANKO AW Tm.



鮭

魚介類の本場だけに鮭店も豊富。腕利きの職人が旬の魚の旨みを最大限に引き出した個性あふれる鮭を楽しませてくれる。

洋食

明石鯛のカルパッチョや明石だこのマリネなど洋食でも新鮮魚介類は大活躍。海峡のまちならではの洋食も味わいたい。

ご当地ならではのグルメ

明石を代表するご当地グルメといえば、やっぱり明石焼(玉子焼)! お店によってお出汁・薬味・大きさなど様々なので、お店選びも楽しめる。

和食

旬の魚を味わうなら季節感たっぷりの和食がおすすめ。その日に取れた鮮度抜群の魚介類(屋網)を堪能できる。

**新鮮素材を使った
グルメもぜひ**

店舗情報のお問い合わせは
(一社)明石観光協会へ
Tel 078-918-5080
✉ info@yokoso-akashi.jp



明石の

旬魚カレンダー

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
										ハモ	
	ウマツラハギ					ゴマサバ				ガシラ	
		イカナゴ(新子)				ベラ(キュウセシ)				タチウオ	
						アナゴ				カワハギ・サワラ	
			黒メバル(メバル)			マダコ				ハリイカ	
ワタリガニ				アブラメ(アイナメ)				アジ			オコゼ
	イダコ		桜鯛(マダイ)				車エビ			ワタリガニ(カザミ)	
	ヒラメ				メイトガレイ				ツバス・ハマチ		
	チヌ・キス				ニガレイ(マコガレイ)				紅葉鯛(マダイ)		
		ノリ				カワツエビ					ノリ
伝助アナゴ											伝助アナゴ

明石のり

潮流の速い漁場で育まれた明石のりは、やや厚めで、色が黒く、香りと艶が良いのが特徴。日本有数の生産量を誇り、栄養価も高い。贈り物にも最適の逸品。



練り製品

明石の新鮮な魚介類を使った練り製品は、歴史があり種類も豊富だ。いろいろな味を食べ比べするのも楽しい。



スイートコーン

早朝から収穫が行われており、甘みが強いのが特徴。特に品種・品質にこだわったものが“スイートモーニング”と呼ばれ、直売所で販売されている。収穫は6月中旬から7月下旬。

【問】JA兵庫南(明石播磨営農経済センター)
Tel 078-948-5380

明石の酒 (日本酒)

神戸の灘に対し、明石は「西灘」と呼ばれるほど銘酒の産地。江戸時代から300年受け継がれた技と情熱が生み出す数々の銘酒。魚料理にもよく合う芳醇な味。



酒蔵情報

市内には6軒の酒蔵があり、各蔵で日本酒やウイスキー、リキュール等を生産している。明石酒類醸造では不定期で酒蔵や蒸溜所の見学ツアーを開催。併設のビジターセンターではお買い物や有料試飲が楽しめる。



清水いちご

魚住町清水の温暖な気候に育まれたイチゴ。シーズン中(11月~5月)は直売所で販売しており、粒の大きさとみずみずしい口当たりや濃厚な甘さが特徴の特産品。清水の生産者が12月に収穫できる美味しいイチゴ栽培に成功したことでクリスマスのケーキに日本産のイチゴが使われるようになったといわれている。

【問】JA兵庫南(明石播磨営農経済センター)
Tel 078-948-5380



ブルーベリー

新たな特産品として生産されているブルーベリー。粒が大きく、上品な甘みがあり、ケーキ等の材料としても活用されている。収穫は6月から8月。直売所で販売されている。

【問】JA兵庫南
(明石播磨営農経済センター)
Tel 078-948-5380



\\ これも明石のとおき! //

お土産&地元スイーツ

お土産情報のお問い合わせは(一社)明石観光協会へ
Tel 078-918-5080 ☒ info@yokoso-akashi.jp

明石物語

潮流の激しい明石海峡に見立てて作られた和菓子。切り口がうずまきになっており、見た目も楽しめる。



御多幸 祈願まんじゅう

幸せを願って手を合わせるタコをかたどった饅頭。白餡と国産黒大豆が入り、ふわっとした食感。



たこせんべい

明石だこの足を入れて焼き上げており、甘辛く柔らかい生地で飽きない一品。

八房の梅

赤穂浪士が主君の仇討成功を祈願して植えたと伝わる「八房の梅」から名付けられた銘菓。柔らかな餅に紀州の梅を練り込んだ上品な逸品。



たこすみプリン

黒いカラメルソースをたこ墨代わりに。バニラの香りが効いたプリンとの相性は抜群。

明石 清水いちごの タルト

明石の清水地区で収穫される甘くて艶やかな清水いちごをたっぷりとのせた贅沢な季節限定のタルト。



めで鯛 もなか

たっぷりのこしあんが見えることから笑いもなかとも呼ばれ、縁起物としても人気。



子もち たこ最中

タコの形をした愛らしい最中。粒、白、抹茶と3種の餡があり、中には求肥が入っている。



明石海峡大橋

明石海峡に架かる全長3,911mの世界最長級の吊り橋。主塔の高さは海面から約300mと見る者を圧倒する。ライトアップされた夜景も必見だ。明石側から眺めれば、海と空と明石海峡大橋の全景が入った大パノラマが目の前に広がる。

【問】(一社)明石観光協会
Tel 078-918-5080
✉ info@yokoso-akashi.jp



海峡 のまち

潮風を感じながら
心も体もリフレッシュ

東西に細長く、15.6kmの海岸線を有する明石。海岸沿いには雄大な明石海峡大橋を望む眺望や整備の行き届いた公園などが点在し、のんびりと過ごすことができる。海水浴や海釣り、バーベキューなど、アクティブに楽しむことも。四季を通じて海のレジャーが充実している「海峡のまち」の魅力を感じよう。



海釣りスポット

大蔵海岸公園や明石海浜公園周辺など、明石には海釣りを楽しめるスポットがたくさんあり、明石海峡大橋を眺めながらのんびりと釣りが楽しめる。柵やトイレも完備しているところもあり、子ども連れでも安心して釣りができる。

【問】(一社)明石観光協会
Tel 078-918-5080
✉ info@yokoso-akashi.jp



大蔵海岸公園・大蔵海岸海水浴場

明石海峡大橋と淡路島を望む解放的な大型公園。フットサルやグラウンド・ゴルフ等が楽しめる人工芝のグラウンドなども整備され、散策だけではなく、いろいろな用途で楽しめる。夏には大蔵海岸海水浴場の海開きが行われ、多くの海水浴客でにぎわう人気スポット。

♿ ♿ ♿ ※和式トイレあり

【問】大蔵海岸公園管理事務所
Tel 078-914-7255
Fax 078-914-7256



ロケ地

淡路ジェノバライン

明石と淡路を結ぶ高速船、淡路ジェノバライン。明石港から淡路島の岩屋港を折り返し、明石海峡を往復する定期航路を活用すれば、迫力ある明石海峡大橋や、明石のまちなみを楽しめる。自転車乗船可。125cc以下のバイクを運搬できるのは「まりん・あわじ」のみ。

♿ ♿ ♿ ※和式トイレあり(明石営業所)

【問】(株)淡路ジェノバライン Tel 0799-72-0181 Fax 0799-72-2664



明石港と旧灯台

正式名は旧波門崎燈籠堂。1657(明暦3)年に築かれ、現存する日本の旧灯台のうち設置年代は2番目に古いとされている。市指定文化財であり、市民に愛され続ける貴重な歴史遺産。ドラマのロケ地となったこともある。

【問】(一社)明石観光協会
Tel 078-918-5080 ✉ info@yokoso-akashi.jp



浜の散歩道の撮影ポイント

A だるま夕日

夕日が見られれば場所を選ばないが、だるま夕日の撮影は西に位置する江井島海岸がおすすめ。10～3月にかけて条件が整えば見ることができる。



B 壁画

浜の散歩道沿いの壁には、明石の歴史と伝説にまつわる壁画が描かれている。



C スタンドアップパドルを楽しむ風景

マリンスポーツは林崎海岸が盛ん。スタンドアップパドルの様子が見られる。



D 明石海峡大橋の全景

浜の散歩道からは、明石海峡大橋の全景をきれいに写真に収めることができる。



1 江井島海岸

道沿いにヤシの木が立ち並び、南国ムード漂う海岸。写真撮影スポットとしても人気があり、浜の散歩道にもつながる潮風薫るスポット。

※和式トイレあり

【問】明石市 海岸・治水課 Tel 078-918-5042
meikai@city.akashi.lg.jp



2 アカシゾウ化石発掘地

120～180万年前に生息したとされるアカシゾウ。昭和35年に当時の中学生が象の牙を発見し、約6年間でほぼ一頭分の化石を採掘した。その複製が明石市立文化博物館に展示されている。

【問】(一社)明石観光協会 Tel 078-918-5080
info@yokoso-akashi.jp



3 八木遺跡公園

近隣で発見された「明石原人」や「アカシゾウ」をモチーフとした遊具やあずまやが配置された公園。

※和式トイレあり

【問】明石市 緑化公園課 Tel 078-918-5039
kouen@city.akashi.lg.jp



4 林崎海岸

夏場には遠方から多くの海水浴客が訪れる。遠浅で水の透明度が高い海岸。

※和式トイレあり

【問】明石市 海岸・治水課 Tel 078-918-5042
meikai@city.akashi.lg.jp

播磨サイクリングロードとは？

明石市から姫路市までを結ぶ、約35kmのサイクリングロード。浜の散歩道もコースに含まれ、アップダウンが少なく、快適なサイクリングが楽しめる。



浜の散歩道

明石川西岸から江井島海岸まで、海岸に沿った約8kmの散歩道。明石海峡と淡路島を望みながら、漁港や観光スポットを巡ることができる。車が通らないのでジョギングやサイクリングにも最適だ。季節感や心地よい風を感じながら「海峡のまち」を体感しよう。

【問】(一社)明石観光協会
Tel 078-918-5080
info@yokoso-akashi.jp

歴史 のまち

歴史上の人物にも
愛された明石のまち

明石城を中心に城下町として栄えた明石。宮本武蔵が明石の町割りをしたとも伝えられており、万葉の歌人、柿本人麻呂が残した歌の石碑や紫式部が書いた源氏物語ゆかりの風景など、市内には名だたる歴史上の人物に関連する史跡が多く残されている。そんな往時に思いを馳せ、まちを巡り歩けば明石の奥深さが見えてくる。



明石城(兵庫県立明石公園)

小笠原忠政(後の忠真)により築城され約400年の歴史を持つ日本100名城のひとつ。異櫓と坤櫓は日本に12基しか現存していない貴重な三層櫓の内の2基であり、国の重要文化財に指定されている。園内には、武蔵の庭園や芝生広場もあり、ゆっくりと散歩できる。「日本の都市公園100選」や「さくら名所100選の地」、「兵庫景観ビューポイント」にもなっており、多くの来園者で賑わっている。



【問】兵庫県立明石公園 Tel 078-912-7600
✉ info_akashi@hyogopark.com

歴代藩主

初代明石藩主である小笠原忠政は、徳川家康と織田信長を曾祖父に持つ。2～7代目は大久保氏や本多氏等、8～17代目までは徳川縁戚である越前松平家が藩主を務め、明治に至り版籍奉還を迎えた。

中崎公会堂

1911(明治44)年に建築された明石で最も古い公共施設で、こけら落としには夏目漱石が講演した歴史も。奈良・鎌倉時代の建築様式を取り入れ、木造トラス構造を採用。市指定文化財。

【問】明石市立市民会館 Tel 078-912-1234
✉ info@akashi.hall-info.jp



船上城跡(船上西公園)

1585(天正13)年、高山右近が築城し、城下町を整備。船上西公園には、高山右近の説明や当時と現在のイラストマップなどが描かれた案内看板があり、当時の船上城下を偲ぶことができる。

【問】明石市 シティセールス課
Tel 078-918-5263
✉ citysales@city.akashi.lg.jp

善楽寺(戒光院・円珠院)

市内で最も歴史のある寺院。645(大化元)年に法道仙人によって創建され、平清盛によって再興された。戒光院には平清盛供養塔や源氏物語に由来する明石入道の碑、光源氏古跡明石之浦之浜之松の碑があり、円珠院には宮本武蔵作庭と伝わる枯池式枯山水庭園がある。

【問】戒光院 Tel 078-917-5070
Fax 078-917-5528
円珠院 Tel 078-912-7830
✉ gyosenenjiyuin@gmail.com



明石市立文化博物館

「自然環境と人々の暮らし」と題して8つのテーマで紹介する常設展示のほか、特別展や企画展などの展覧会を開催。



【問】明石市立文化博物館
Tel 078-918-5400
Fax 078-918-5409

アカンソウの骨格標本模型は迫力満点!



ここに石碑を
建てよう!



松平忠国と源氏物語

紫式部が書いた「源氏物語」。源氏物語を愛した5代明石藩主・松平忠国は「明石の巻」に登場する舞台を明石に実在する寺社にモデルとして設定し、「源氏物語ゆかりの地・明石」を広める功績を残した。

無量光寺と 鶯の細道

無量光寺は源氏物語で光源氏が月見をした屋敷のモデルと伝わる。鶯の細道は光源氏が明石の君の住む岡辺の館へ通った道のモデル。ロマンスあふれるスポット。



明石市立 天文科学館

東経135度日本標準時子午線上に建ち、時や宇宙について学べる科学館。建物そのものが国の登録有形文化財であり、日本の標準時を示す塔時計は明石のシンボルとなっている。現役最古のプラネタリウムもあり。

※和式トイレあり

【問】明石市立天文科学館 Tel 078-919-5000
✉ otoiawase-tenmon@city.akashi.lg.jp



時のまち

時にまつわる
施設や設備が充実

日本標準時となる東経135度子午線が通る明石はまさに「時のまち」。その象徴ともいえる子午線上に建つ天文科学館では、時について学ぶことができる。市内には子午線を示す標識やさまざまな時計が見られ、整備された都心回遊路「時の道」など、まちを歩けば、時のロマンを感じられるスポットがいっぱい。

「時」とゆかりの深い観光スポットを巡るハイキング

通称
時の道
(約2km)

- 兵庫県立 明石公園 (明石城)**
→ 詳細は P8
- 明石市立 文化博物館**
→ 詳細は P8
- 明石上ノ丸教会**
1907 (明治40) 年創立。建物上部の鐘楼にはオランダ製カリヨン(鐘)がある。建物正面には壁面時計がある。
【問】明石上ノ丸教会
Tel 078-911-6088
Fax 078-917-7700
- 本松寺**
1596年に創建。宮本武蔵作の枯山水庭園や隣接の妙見社はヒラドツツジが有名。ジャイアント馬場さんの墓所で話題に。
【問】本松寺
Tel 078-912-6800
✉ honsyoji.sk@ddknet.ne.jp
- 「時の道」を示す標柱**
時の道沿いには枝先のプレートを埋め込んだ石の標柱が12カ所ある。発見しながら歩いてみては。
【問】明石市 シティセールス課
Tel 078-918-5263
✉ citysales@city.akashi.lg.jp



- 月照寺**
山門は豊臣秀吉が京都・伏見城の薬師門として建立し、後に明石城の切手門に。明治初期、廃城とともにその役目を終え、移築された。天皇や上皇からは短冊等も奉納され、その一部は、国や市の指定文化財。
【問】月照寺 Tel 078-911-4947
Fax 078-911-2035
- 柿本神社**
歌聖柿本人麻呂朝臣をお祀り「人丸さん」として親しまれている。火災除の神の他に学問、文芸、安産、良縁のご利益あり。境内には人麻呂公の歌碑がたくさんある。
【問】柿本神社 Tel 078-911-3930
✉ akashi@kakinomoto-jinja.or.jp
- トンボの標識**
東経135度日本標準時子午線の標示柱「あきつ」の古名を持つトンボが日本の古名「あきつ鳥」の象徴として乗っている。SF漫画作家の松本零士さんが幼少期に見て宇宙に興味を持つきっかけとなった標識としても有名。
【問】明石市 シティセールス課 Tel 078-918-5263
✉ citysales@city.akashi.lg.jp
- 明石市立 天文科学館**
→ 詳細は P9

▲ = ⑤「時の道」標柱



明石のお宿

●JR・山陽電車明石駅周辺

- 明石キャッスルホテル Tel 078-913-1551
akashi@castlehotel.co.jp
- グリーンヒルホテル明石 Tel 078-912-0111
ghafront@gh-hotel.co.jp
- 栄家旅館 Tel 078-911-3451 Fax 078-914-5779
- ビジネスホテル菊水 Tel 078-911-2280 Fax 078-911-2350
- 料亭旅館 人丸花壇(天然温泉) Tel 078-912-1717
info@hitomarukadan.com
- レミントンホテル Tel 078-914-5151
office@remingtonhotels.jp

●山陽電車西新町駅周辺

- 旅館権現荘 Tel 078-923-1230
oyadogongen@yahoo.co.jp

●JR西明石駅周辺

- 明石ルミナスホテル Tel 078-928-1177
afront@luminous-hotel.co.jp
- スマイルホテル西明石 Tel 078-925-5555
info-nishiakashi@smile-hotels.com
- 西明石ホテル Tel 078-928-0246
nishiakashihotel@yahoo.co.jp
- 西明石リンカーンホテル Tel 078-924-0770
rincarn@acty21.com
- ビジネス明石家旅館別館 Tel 078-927-4141
info@akashiya-b.com
- ホテルキャッスルプラザ Tel 078-927-1111
info@castlehotel.co.jp
- ホテルプレフォート西明石 Tel 078-940-8025
support@hotel-prefort.com

●JR大久保駅周辺

- ホテル大久保 Tel 078-936-0208 Fax 078-936-0447





明石観光ガイド

(一社)明石観光協会

Tel 078-918-5080

Fax 078-911-0579

✉ info@yokoso-akashi.jp

本書の内容は、2024年4月末日現在の
情報に基づいて掲載しております。

2024年7月 発行